

鳥取大学研究成果リポジトリ

説明資料

第2版：2015年12月
鳥取大学学術情報部図書館情報課

「リポジトリ」とは何か？

リポジトリ[Repository]とは、主に大学などの研究機関が学内知的生産物のショーケースとして、構成員が作成・発表した一次情報（＝論文等の本文）を蓄積・保存し、インターネットを介して発信する（無料）ものです。新たな学術情報流通の手段として、近年世界的に広がりつつあります。

「鳥取大学でどんな研究をしているのか」がよりわかりやすくなる。



大学全体としてのメリット…

- 国立大学として社会に対する説明責任を果たす。
- 研究教育機関としてのイメージアップになる。
- 鳥取大学と外部機関との共同研究・産学連携等の機会が増える。



個人としてのメリット…

- 研究成果公開の手段や機会が増え、閲覧・引用される可能性が高まる。



登録の流れ（概要）

研究者

1. 承諾書および公開希望資料のファイルを図書館に送付（メール添付 or CD-ROM 等メディア送付）。

（以降の作業は原則としてすべて図書館側で行います）

2. メタデータ（書誌事項等）を作成。
3. 著作権等確認。
4. リポジトリに登録して公開。



登録候補

紀要、COE 関連資料、科学研究費報告書、学位論文、郷土資料、
学術雑誌掲載論文、単行本（章、節）、教材、発表スライド、実験データ

著作権法上問題はないのか？

投稿規程や出版契約書にどう書かれているかによって違いがあります。

●著者に著作権がある場合

→著者（共著の場合は全員）の許諾があれば登録可能です。

●発行元(出版社/学会など)に著作権を譲渡済みの場合

→発行元の許諾が必要ですが、海外出版社の多く(Elsevier, Springer, NPG 等)は条件付き(査読前原稿のみ可、編集校正前原稿のみ可, 出版社版公開後○日間は不可など)で登録可能です(確認等詳細作業は図書館で行います)。

▶許諾が得られない場合は公開を希望されてもできません。

▶特許にかかわるものなど、公開を延期もしくは非公開のほうがよいものもあります。



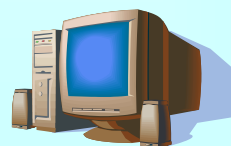
国内外の状況（2015年12月時点）

- 国内：561機関による440件のリポジトリが設置・公開されており、公開コンテンツの総数は200万件を超えています(NII 学術機関リポジトリ構築連携支援事業ページ：<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>)。
- 海外：The Directory of Open Access Repositories (*OpenDOAR*)に登録されているリポジトリだけで3,000件を突破しており、欧米だけでなく中南米(ブラジル、ペルーなど)やアジア(インド、韓国など)でも増加しています。

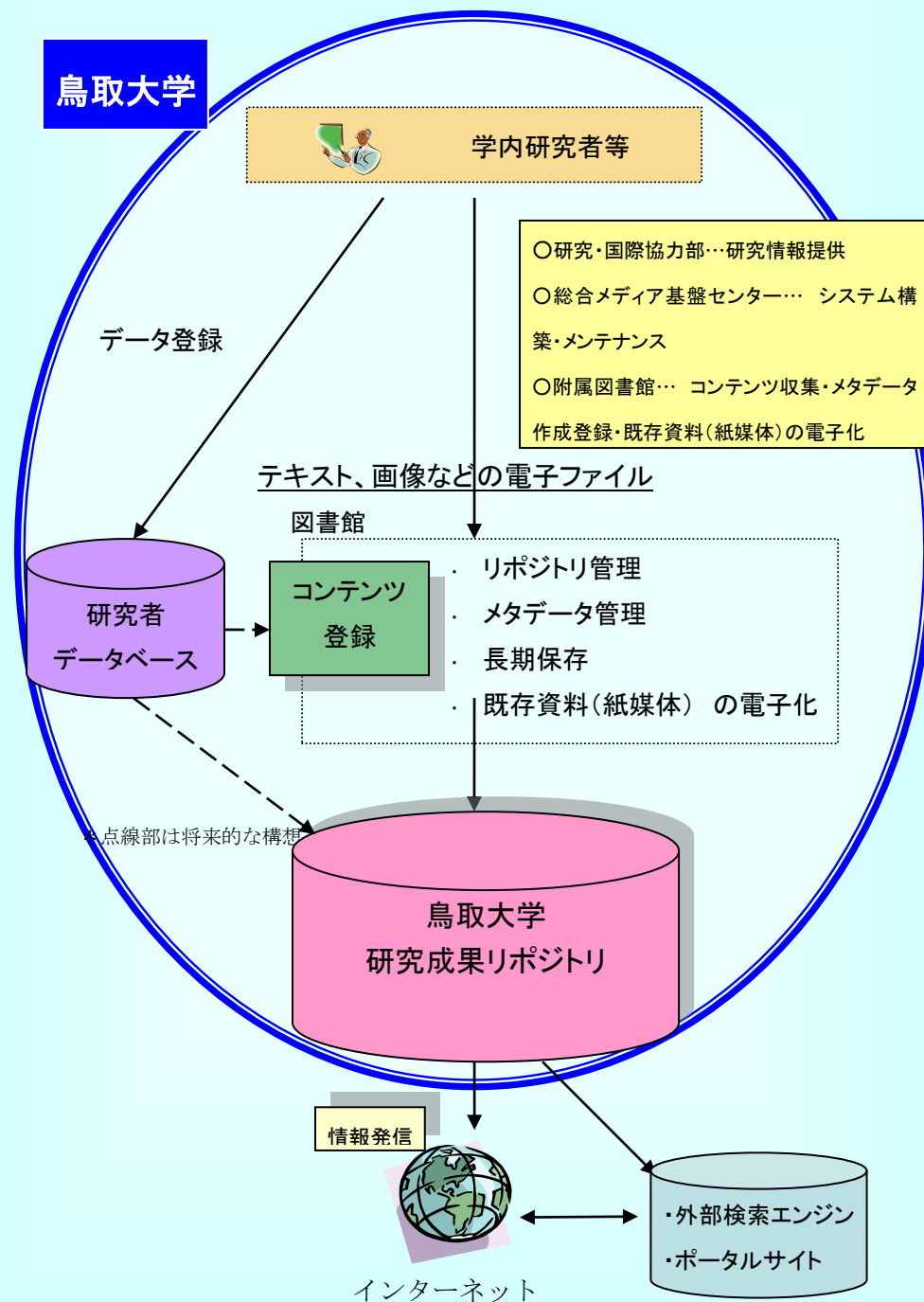


関連サイト

- JuNii+ (<http://juniplus.csc.nii.ac.jp/>) (横断検索：日本)
- OAIster (<http://www.oaister.org/>) (横断検索：海外)
- Scpj (<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>) (著作権ポリシー検索：日本)
- SHERPA/RoMEO (<http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php>) (著作権ポリシー検索：海外)
- OpenDOAR (<http://www.opendoar.org/>) (リポジトリ一覧/検索)



鳥取大学研究成果リポジトリシステム概要図



問合せ：図書館情報課学術情報担当

Tel: 0857-31-5673 内線:7060

E-mail: ac-gakuju@adm.tottori-u.ac.jp